

松戸市在宅人工呼吸器使用患者停電対応訓練実施要領

1. 訓練の目的

- ①在宅人工呼吸器患者（以下、「患者」という。）および主介護者が停電時にも非常用電源を活用し、人工呼吸器を動かすことができるようになる。
- ②担当の訪問看護師が患者および主介護者の機器に関する理解度を把握するとともに、看護師自身が非常用電源の活用方法を理解する。

2. 訓練詳細

訓練 1. 非常用外部電源（ポータブル電源）で人工呼吸器・加湿器を駆動する訓練

訓練 2. 自動車などを用いて非常用外部電源の充電を行う訓練

※訓練 1 は必須とする。

【事前準備】

- ① 非常用外部電源（ポータブル電源）をあらかじめ家庭用電源で充電しておく
- ② （訓練 2 実施の場合）訓練時に電源を提供してもらう自動車を決めておき、（自動車から充電する場合に DC/AC インバーターが必要な非常用外部電源の場合）DC/AC インバーターを準備する
- ③ バッグバルブマスク(アンビューバッグ)を準備する
- ④ 当日、バッグバルブマスク(アンビューバッグ)を使う技能を持つ看護師(家族でもよい)等の配置

【訓練内容】

訓練 1 非常用外部電源（ポータブル電源）で人工呼吸器・加湿器を駆動する訓練

- ① 準備するもの・人が揃っていることを確認する
- ② 訓練開始時刻に停電になったと仮定し、人工呼吸器の電源をコンセントから抜く
注）内部バッテリーがない機種の場合は、いきなりコンセントを抜かない
- ③ 人工呼吸器・加温加湿器の電源を非常用外部電源（ポータブル電源）に接続する
- ④ 人工呼吸器・加温加湿器の稼働が継続していることを確認する
- ⑤ 患者や機器に異常がないことを確認する

訓練 2 自動車などを用いて非常用外部電源の充電を行う訓練

- ①車のエンジンをかけてから、自動車のシガーソケットと、(DC/AC インバーターを仲介して)非常用外部電源（ポータブル電源）を接続する
※自動車故障の恐れがあるため、必ずエンジンをかけてからシガーソケットを接続する
- ②非常用外部電源（ポータブル電源）が徐々に充電されることを確認する